

## 会議等議事要旨記録票

日 時	令和3年4月20日（火曜日）午後3時30分から午後4時30分まで		
場 所	30S会議室（Web会議）		
会議等名	感染症診療チーム会議		
議 題	レジストリ研究について		
参 加 者	賀来座長、チームメンバー、松永展明先生（国立国際医療研究センター）、福祉保健局関係部長・課長等		
配付資料	別紙のとおり		
結 果 ※当てはまる項目にチェック	<input type="checkbox"/> ①事案について了承（意見なし） <input checked="" type="checkbox"/> ②事案について了承（意見あり） <input type="checkbox"/> ③事案について要修正 <input type="checkbox"/> ④事案について不承諾 <input type="checkbox"/> ⑤別紙にて情報共有（説明のみ）		
主な内容	<p>（松永先生よりレジストリ研究資料の説明後、主に感染の現状について意見交換）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関において入院管理されている症例を対象にしたデータによれば、全国、東京都とともに第2波に比して第3波は、中等症以上の患者が増加している。死者数も増加している。</li> <li>・感染の場が三密の場面に限らず広がっている傾向が見られる。</li> <li>・治療について、第3波では重症度が上がっているため、レムデシビル、ステロイドが使われる比率が高まっていると考えられる。</li> <li>・発症から入院までの期間が、以前の7日程度から4日程度にまで縮まっている。治療開始のタイミングは以前より早まっている。</li> <li>・3密や会食の場があまり感染の場面になっていないデータについて、つかみどころのない感染源の人たちが増えたという印象を受けた。</li> <li>・治療については、軽症から中等症1を対象にした治験がかなり始まってきた。イベルメクチンは、日本の薬事承認を受けるほどのデータがまだ集まっていないのが現状。</li> <li>・死者数は高齢者に偏っているため、高齢者をいかに罹患させないかが大事。第3波の前半と後半で入院している患者層の分布が変わってきていることが見える。若い世代が中心に波が起きて、各世代に広がっていくのが一般的だが、そういう波が明確にならなくて、あらゆる年代層に早い段階で感染が広がっている。どこを気を付けるとするのは難しい。</li> </ul>		
作 成 者	計画課 寺島	確 認 者	担当課長 古嶋